

## 三重県

**住みたい・暮らしたい・働きたい  
ええじゃないか！みえ**

三重県では・・・

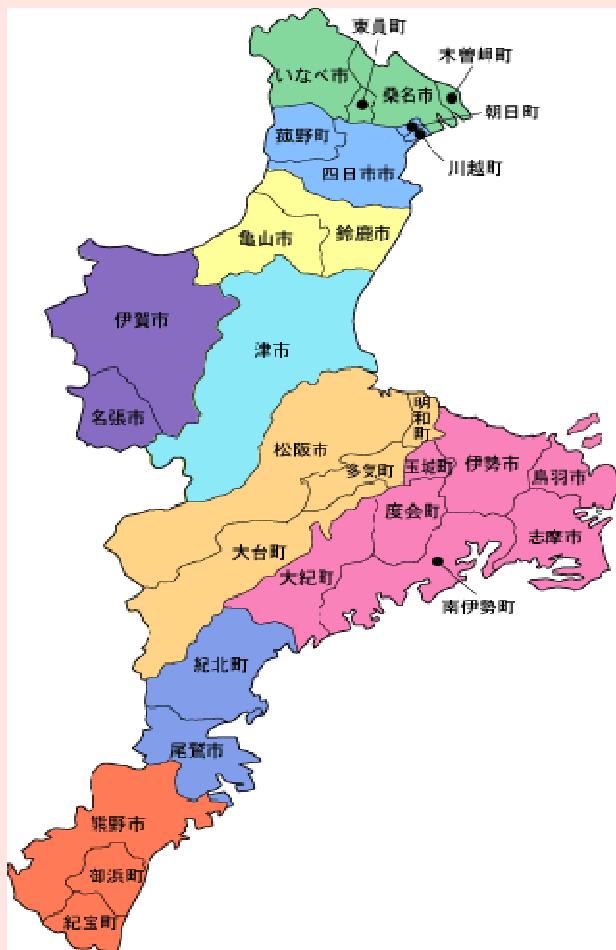
- 県内全ての圏域において（自立支援）協議会精神部会が設置され、ピアサポートやアウトリーチ等の取組を進めており、その代表者が集う精神障がい者地域移行・定着推進連絡会において、地域の現状や課題を共有して、県全体の地域移行を進めています。
- 今後、県や圏域、市町の様々な協議の場を有機的に連携させて、三重県の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を構築します。

# 1 三重県の基礎情報

## 三重県

### 取組内容

- 精神障がい者地域移行・定着支援事業(平成18年度～平成27年度)
- 精神障がい者アウトリーチ体制構築事業(平成23年度～)
- 精神科病院入院者意向調査(平成26年度)
- 長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業(平成28年度～)
- 精神障がい者地域移行地域定着推進連絡会の設置(平成28年度～)
- 医療と福祉の連携ワーキングの設置(平成27年度～)
- 精神科医療と福祉の連携研修の開催(平成27年度～)



## 基本情報

障害保健福祉圏域数 (H28年12月末)	9カ所		
市町村数 (H28年12月末)	29市町村		
人口 (H27年10月1日)	1,815,827人		
精神科病院の数 (H28年12月末)	18病院		
精神科病床数 (H28年12月末)	4,784床		
入院精神障害者数 (H27年6月末)	3か月未満：735人 (17.8%)		
	3か月以上1年未満：608人 (14.7%)		
	1年以上：2,782人 (67.4%)		
	うち65歳未満：1,305人		
	うち65歳以上：1,477人		
退院率 (H28年6月末)	入院後3か月時点：58.9%		
	入院後6か月時点：83.1%		
	入院後1年時点：87.6%		
相談支援事業所数 (H28年10月末)	基幹相談支援センター：9ヶ所		
	一般相談事業所数：29ヶ所		
	特定相談事業所数：145ヶ所		
障害福祉サービスの利用状況 (H28年3月) (精神のみ)	地域移行支援サービス：1人		
	地域定着支援サービス：7人		
保健所 (H28年12月末)	9カ所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (H27年)	2回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	有・無	1カ所
	障害保健福祉圏域	有・無	9カ所
	市町村	有・無	1カ所
精神保健福祉審議会 (H28年3月末)	1回/年、委員数15人		

※H28年12月時点

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### ① 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業 （平成28年度～ 委託：相談支援事業所等）

- ・コーディネーターの配置
- ・精神科病院職員に対する研修
- ・ピアサポーターの体験談を聞く等地域移行に向けたプログラムの実施
- ・初めて精神障がい者を受け入れる事業所等へのアドバイザーの派遣
- ・「みえ発！こころのバリアフリー大使」・ピアサポーター等による地域住民への啓発等

圏域（自立支援）協議会精神部会など  
・地域における退院施策の検討

相談支援  
事業所



保健所  
市町



精神科病院

障害福祉サービス事業  
・サービス報酬による支援



### ② 精神障がい者アウトリーチ 体制構築事業（平成23年度～ 委託：精神科病院）

- ・精神科医師、看護師など多職種  
のチームで、家庭を訪問して  
支援を行う。



### ⑤ 措置入院者等への退院支援 （平成29年度（予定））

- ・退院後支援計画の案を作成
- ・退院後支援計画案をもとに調整会議の開催
- ・決定した計画に基づき、支援全体を調整

### ④ 精神科救急システム （委託：日本精神科病院協会 三重支部）

- ・増悪時の救急診療
- ・24時間電話相談



### ③ 地域移行研修会（平成27年度～ 県こころの健康センター）

- ・人材育成のワーキング開催
- ・地域移行・地域定着に関する  
研修会の開催

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

圏域の協議の場

精神障がい者アウトリーチ  
体制構築事業  
・対象者の選定会議  
・事業の評価会議

圏域（自立支援）協議会精神部会など  
・地域における地域移行・地域定着支援施策の検討

措置入院者等への退院支援  
・退院後支援計画をもとに調整会議  
・関係者と支援体制支援の検討

市町

精神科病院

保健所

相談支援事業所

警察  
消防

障害福祉サービス事業所

関係団体等

県こころの健康センター

県障がい福祉課

課題

協議結果

課題

協議結果

精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会

精神科救急医療システム検討部会

三重県障害者自立支援協議会

三重県精神保健福祉審議会

県の協議の場

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(津市の場合)津市自立支援協議会地域移行ワーキング(精神保健福祉班)
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行モデルケースの検討</li> <li>・施設見学会の企画・運営</li> <li>・課題及び対応策の検討</li> </ul>
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学会の経費について、市が予算化し、継続開催ができています</li> <li>・地域移行・地域定着のためのパンフレット作成への取組につながった</li> </ul>
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	(紀北圏域の場合)紀北圏域自立支援協議会こころ部会
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行モデルケース支援</li> <li>・精神科病院の地域移行の状況調査</li> <li>・課題及び対応策の検討</li> </ul>
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅援護事業(入院中からのヘルパー支援の利用)の創設</li> <li>・訪問看護事業所の開拓</li> </ul>
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会 & 医療と福祉の連携研修(人材育成)ワーキング
	協議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各圏域の地域移行・地域定着の状況を共有し、県全体の課題抽出、対応策の検討</li> <li>・地域移行・地域定着を推進するために必要な人材育成について</li> </ul>
	協議の結果としての成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各圏域の取組内容の共有により、他圏域の取組を取り入れることができています</li> <li>・ピアサポーターについて養成や活動場所の確保が課題であることが明らかとなっている</li> <li>・医療と福祉の連携研修の開催</li> </ul>

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

### 【地域移行に関する事業への取組の経緯】

- 平成18～ 精神障害者退院促進支援事業を開始し、9圏域の総合相談支援事業所に地域体制整備コーディネーター・地域移行支援員を設置。
- 平成25年～法改正に伴い、事業は、ピアサポーターの活動が中心となる。
- 平成26年～精神科病院入院者の意向調査を実施し、障害福祉計画のもと、圏域（自立支援）協議会精神部会等を設置することや、ピアサポーター等の力により、長期入院精神障がい者の退院に向けた意欲喚起の取組を行う方針を定め、取組を進めている。
- 平成27年～各圏域の情報共有や課題検討を行うための精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会を開催。
- 平成28年～4圏域において長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業に取り組んでいる。

### 【アウトリーチに関する事業への取組の経緯】

- 平成23年10月～国のモデル事業として精神障がい者アウトリーチを1圏域で開始。
- 平成26年～従来のアウトリーチに加え、他圏域に拡大するための働きかけを実施し、平成28年からは、2圏域で実施している。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

## 特徴(強み)

1. 県内の9圏域全てに、精神障がい者の地域移行・地域定着支援について協議する場がある
2. ピアサポート活動や新たなサービスを生み出したりできている。またアウトリーチを実施している圏域もある。
3. 圏域同士が情報を共有する場があり、その場で人材育成についても検討できている

## 課題

1. 三重県の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を関係者と検討し、共有する必要がある
2. 圏域によっては協議の場において、検討内容のマンネリ化や地域移行対策の限界感がある
3. 市町の協議の場については、不明確であり、市町ごとに体制を検討する必要がある

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数（各年6月30日現在）（人）	2,860	2,823	2,782
地域移行支援利用者数（各年度3月末時点）（人）	201	102	73
ピアサポーターの養成者数※（実人数）（人） ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	—	—	—
ピアサポーターの活動者数（実人数）（人）	23	7	14

## 平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

1. 長期在院者数2,782人(H27年度630調査)を2,682人とする。→2,747人(H28年度630調査)
2. 1年後時点の退院率86.8%(H27年度630調査)を90.0%とする→87.6%(H28年度630調査)
3. 県内9圏域に圏域(自立支援)協議会精神部会を設置する→達成の見込み

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の実施スケジュール

平成29年度の目標

1. 三重県の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を明確化し、関係者と共有する(障害福祉計画の改訂と並行して実施する)
2. 各圏域において個別事例(長期入院者、措置入院者等)の調整・検討・進捗管理ができる場を設置する(既存の協議の場を活用する)

時期(月)	実施内容	担当
H29年6月 H29年7月	保健所&市町精神保健福祉相談担当者会議の開催 三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会 & 医療と福祉の連携研修(人材育成)ワーキングの開催	障がい福祉課 県こころの健康センター
H29年10月	保健所&市町精神保健福祉相談担当者会議の開催	
H29年12月 H30年1月	地域移行・地域定着研修の開催 三重県精神障がい者地域移行・地域定着推進連絡会 & 医療と福祉の連携研修(人材育成)ワーキングの開催	
(通年)	必要に応じて圏域(自立支援)協議会、保健所の精神保健福祉連絡会、アウトリーチ評価会への参加	
(適宜)	障害福祉計画策定の市町会議・研修の開催	